

氏名	藤 原 久 美
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博 甲 第 1217 号
学位授与の日付	平成 6 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医学研究科病理系病理学（二）専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Promotional effects of Azathioprine on peripheral B cell lymphomas in BALB/c mice induced by administration of 7, 12-dimethylbenz(a)anthracene (7, 12-dimethylbenz(a)anthracene投与によりBALB/c miceに誘発された末梢型B細胞性リンパ腫に対するAzathioprineのPromoter効果)
論文審査委員	教授 岡田 茂 教授 木村 郁郎 教授 難波 正義

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

ヒトの成人に好発するリンパ腫は末梢リンパ組織に由来するが、これまで実験的に誘発されたり、自然発生された動物のリンパ腫は殆どが胸腺由来であった。我々はBALB/cマウス化学発癌剤DMBAと免疫抑制剤azathioprineを組み合わせて投与することで、非胸腺型末梢型リンパ腫の動物モデルの作成を試みた。誘発されたリンパ腫をPattengale-Taylorのマウスリンパ腫／白血病分類に従って分類した結果、それまで72週令以降の老齢のマウスには自然発生が確認されていた脾臓原発のB細胞性濾胞中心細胞性リンパ腫を早期に高率に誘発していたことが明らかになった。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、BALB/cマウスに化学発癌剤DMBAと免疫抑制剤azathioprineを組合わせて投与することにより脾臓原発のB細胞性濾胞中心細胞性リンパ腫を早期に高率に誘発することを示した。この動物モデル作成研究は、免疫不全患者におけるリンパ腫発生のしく

みを研究する上で有用と考えられ、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。